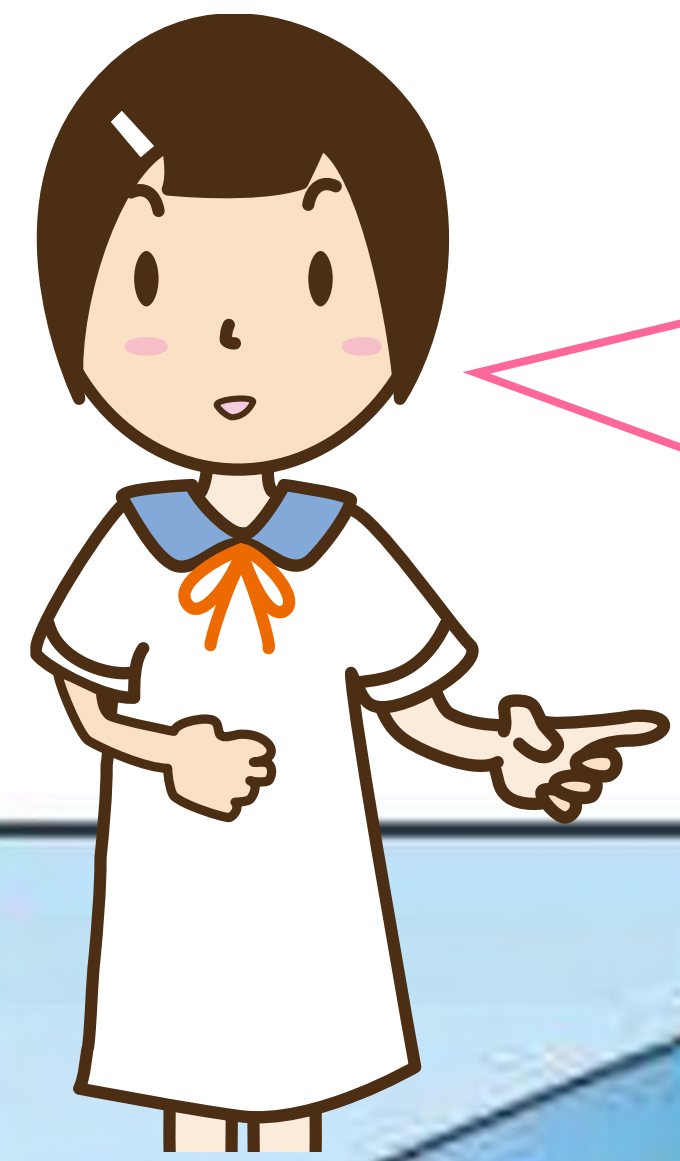


地図で学ぶ防災

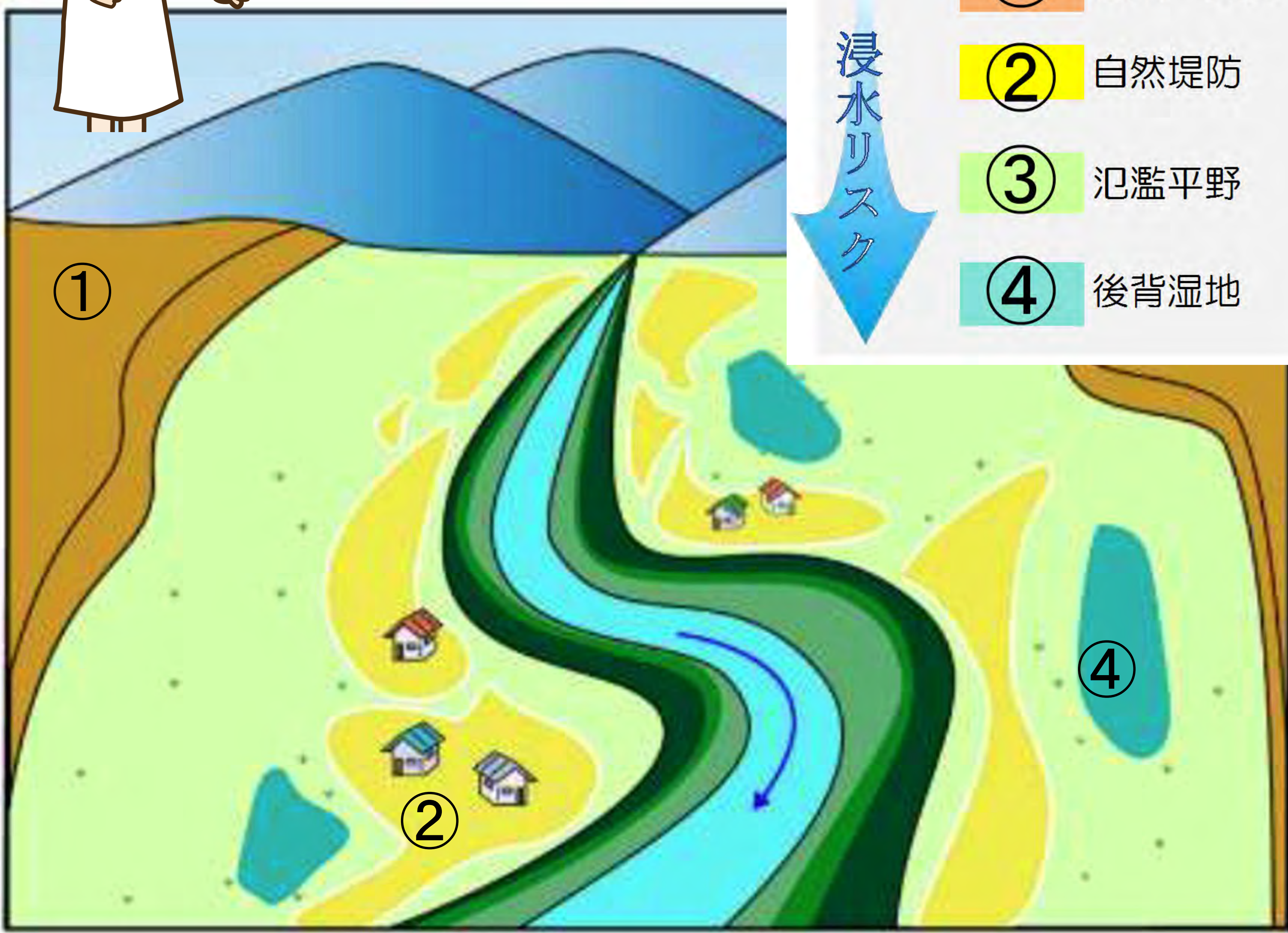
～災害から学ぶ(洪水編)～

過去の災害から災害危険性を学ぼう！

洪水がつくった地形



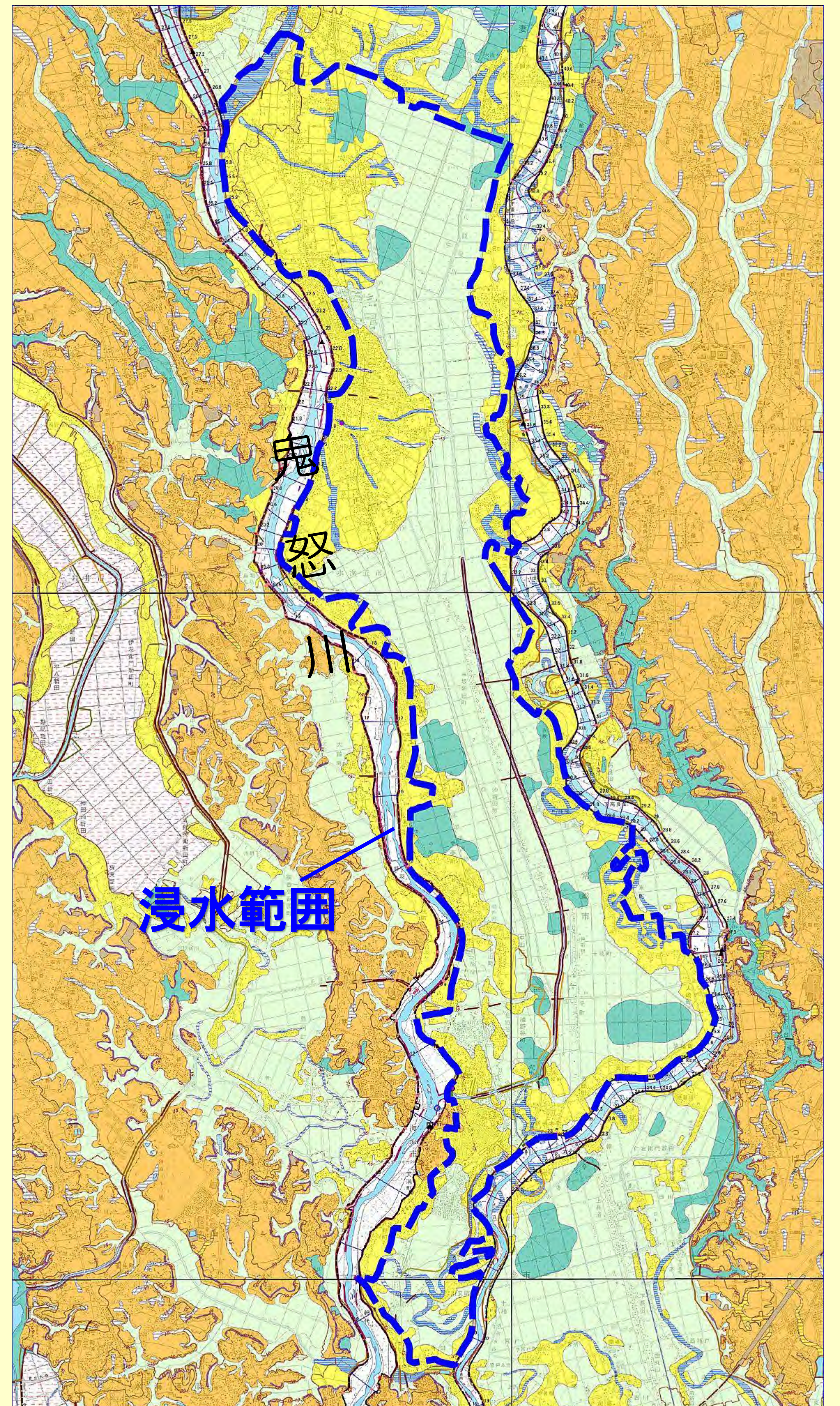
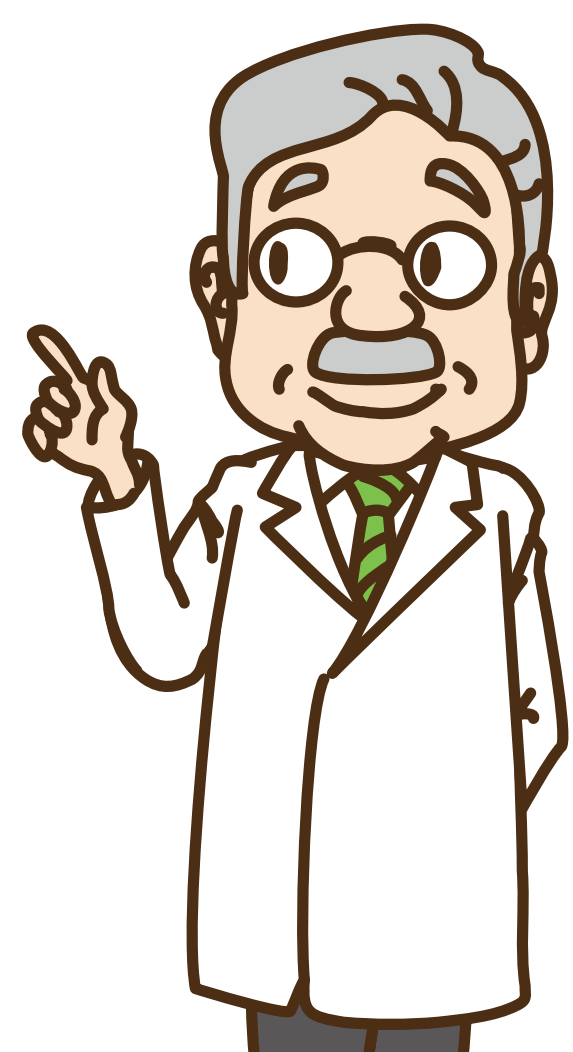
洪水の被害が起こりやすい場所にはどんな特徴があるの？



- ① 台地・丘陵
- ② 自然堤防
- ③ 氾濫平野
- ④ 後背湿地

土地の成り立ちを教えてくれる地図

後背湿地や氾濫平野、自然堤防などの地形は過去の洪水でつくられた地形なんだ。それがどんな場所にあるのかは、「治水地形分類図」という地図がヒントになるよ。



浸水範囲と土地の成り立ち
(茨城県常総市付近)

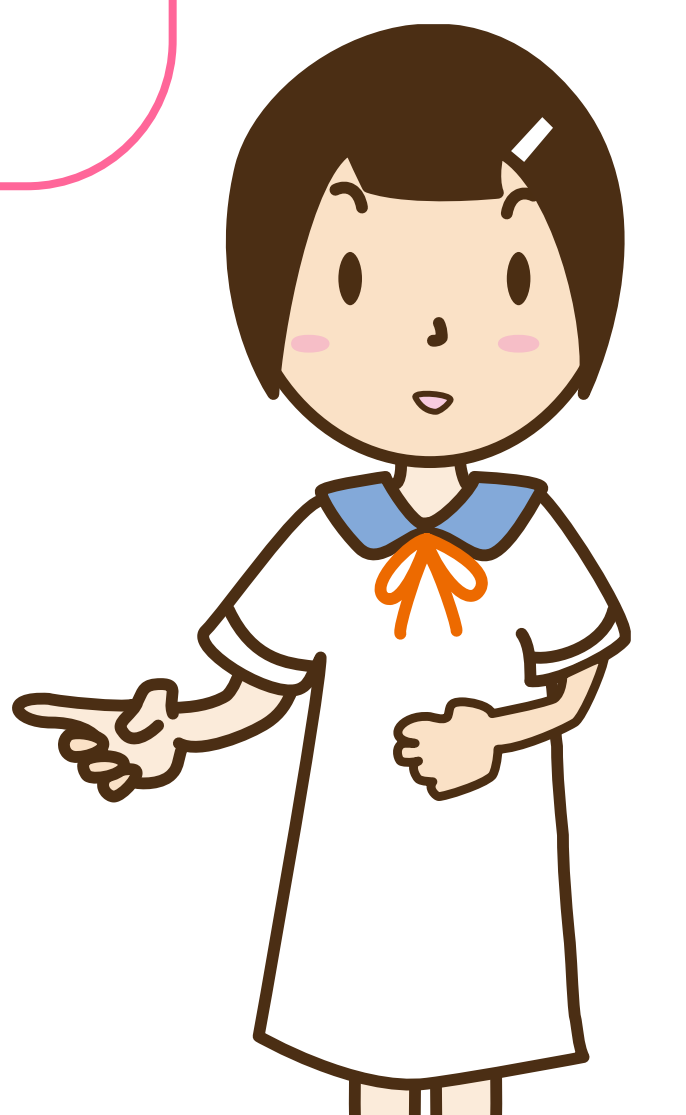
青色の点線で囲んだ場所は、2015年の鬼怒川の氾濫による浸水範囲を示しています。緑や黄色の場所が浸水範囲とほぼ一致しています。



治水地形分類図
吉原・蒲原 (H30年更新)
を地理院地図で表示



治水地形分類図は「地理院地図」で見ることができるのね。

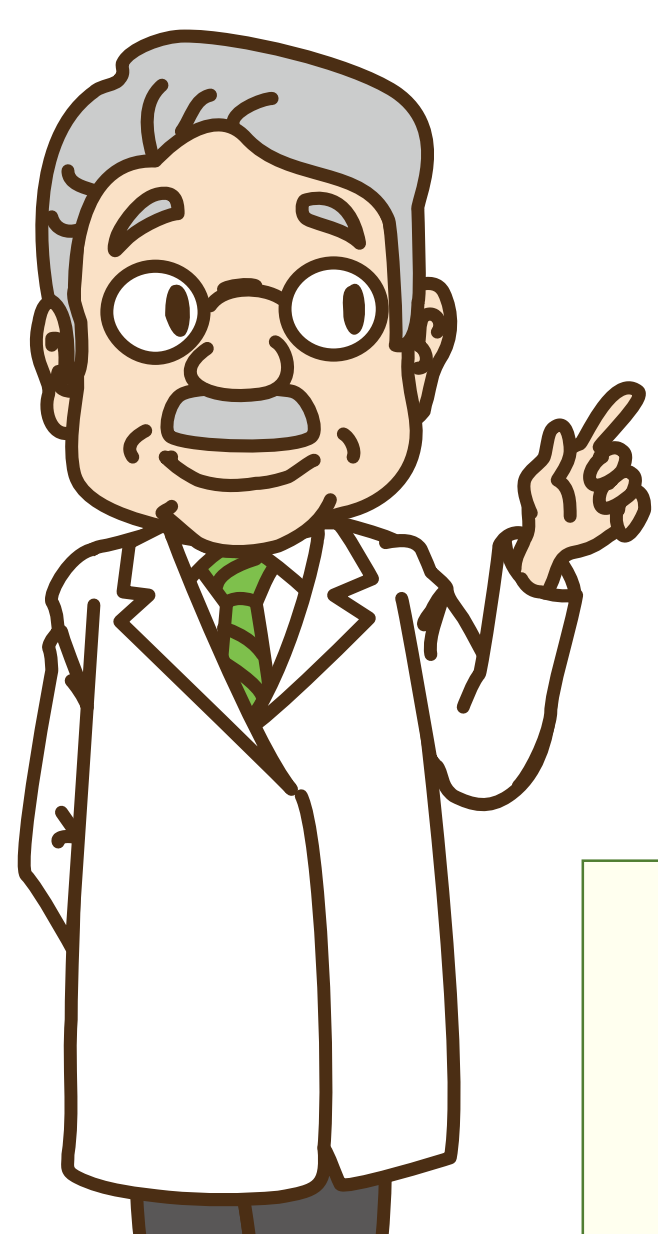


地図で学ぶ防災

～災害から学ぶ(土砂災害編)～

過去の災害から災害危険性を学ぼう！

地形と土砂災害



実は、**土砂災害に注意すべき地形**があるんだよ。

- かけ崩れ：高さ5m以上、角度が30度以上のがけ地形
- 土石流：谷の出口 など

土砂災害は、かけ崩れ、土石流、地すべりの3つのタイプに分類できます。これらの災害は、地震や大雨などによって山地などの傾斜地で発生し、多くの人命や住宅に被害を及ぼします。



かけ崩れ

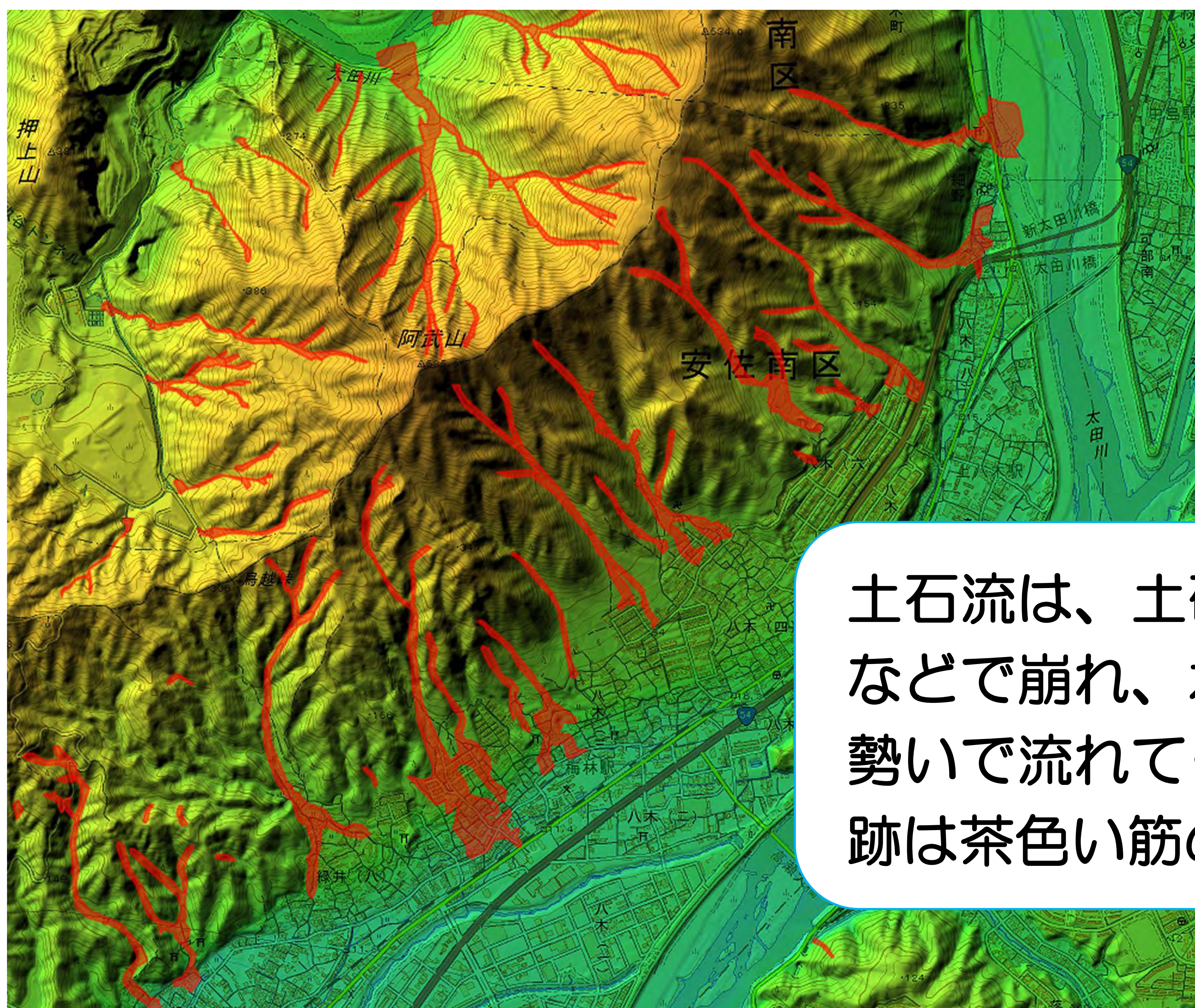


土石流



地すべり

土砂災害と地図



土石流は、土砂（土や砂、岩石）が大雨などで崩れ、水と土砂が混じってすごい勢いで流れてくるんだ。土石流が通った跡は茶色い筋のように見えるんだ。

平成26年（2014）8月豪雨
（広島で土砂災害が発生）のツメあと



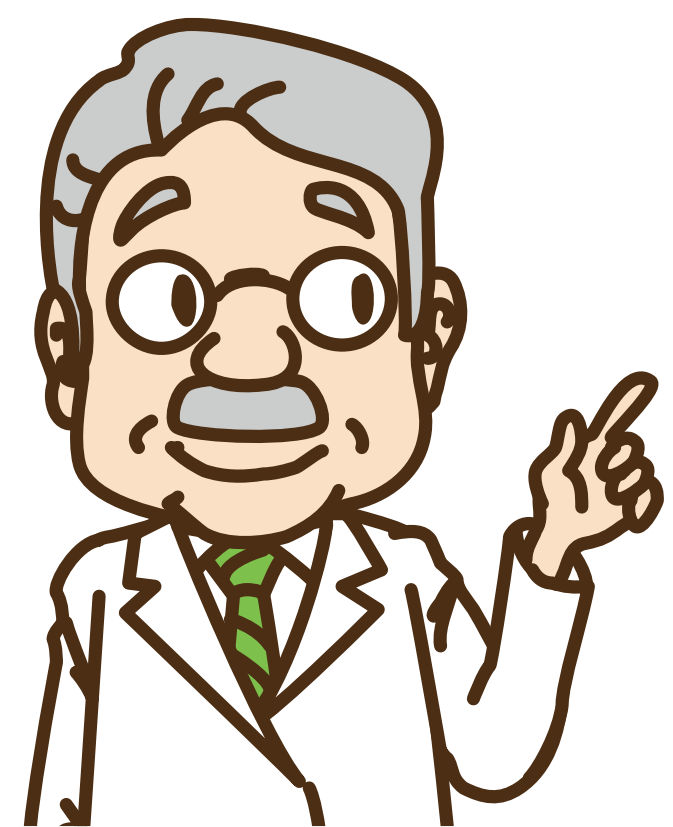
地図で学ぶ防災

～災害から学ぶ(火山編)～

過去の災害から災害危険性を学ぼう！

火山と災害

日本には活火山が111あり、「火山列島」と呼ばれることがあるんだ。温泉などの恵みをもたらす火山は、ときに噴火活動で災害をもたらすこともあるんだよ。



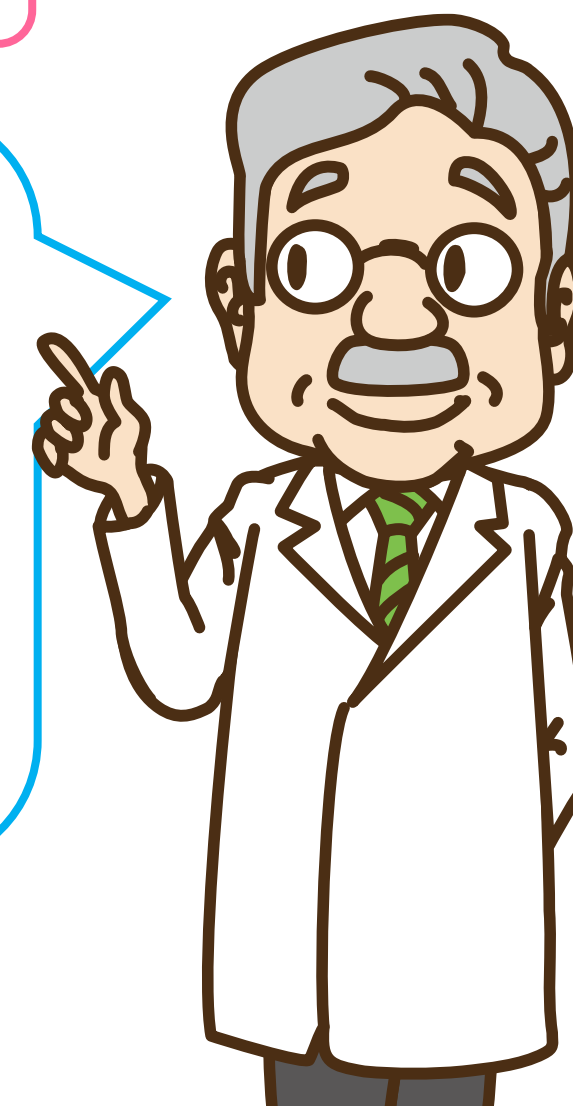
活火山：概ね過去1万年以内に噴火した火山及び現在活発な噴気活動のある火山



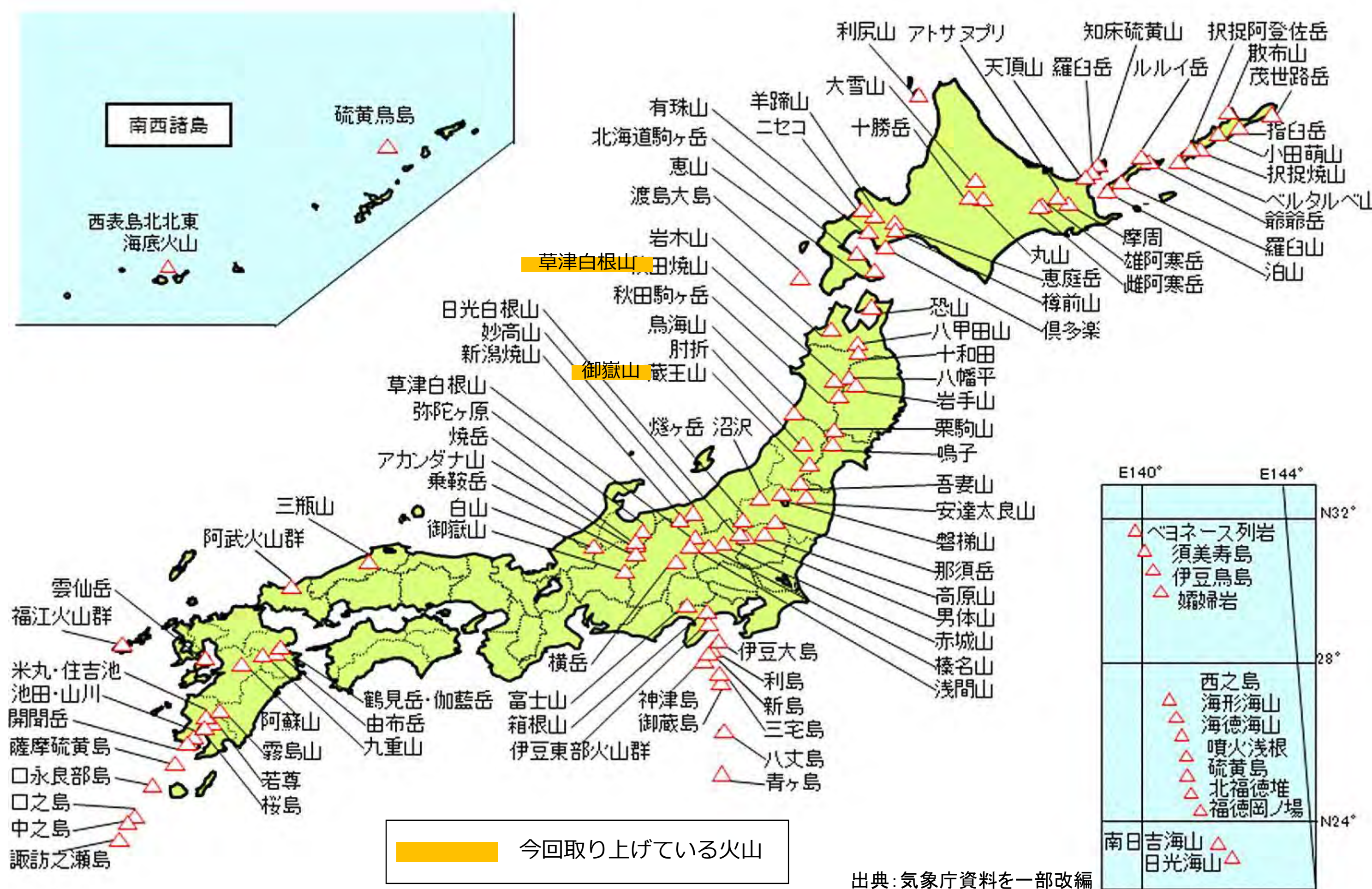
火山噴火ってどんな災害が起こるの？

「戦後最大の火山被害」ともいわれた御嶽山噴火（平成26年9月）が記憶に新しいね。火山災害は、溶岩流や火砕流*だけでなく、噴石や火山灰が広範囲に降り注いだりするんだ。

火砕流：噴火により放出された破片状の固体物質と火山ガス等が混合状態で、地表に沿って流れる現象のこと。

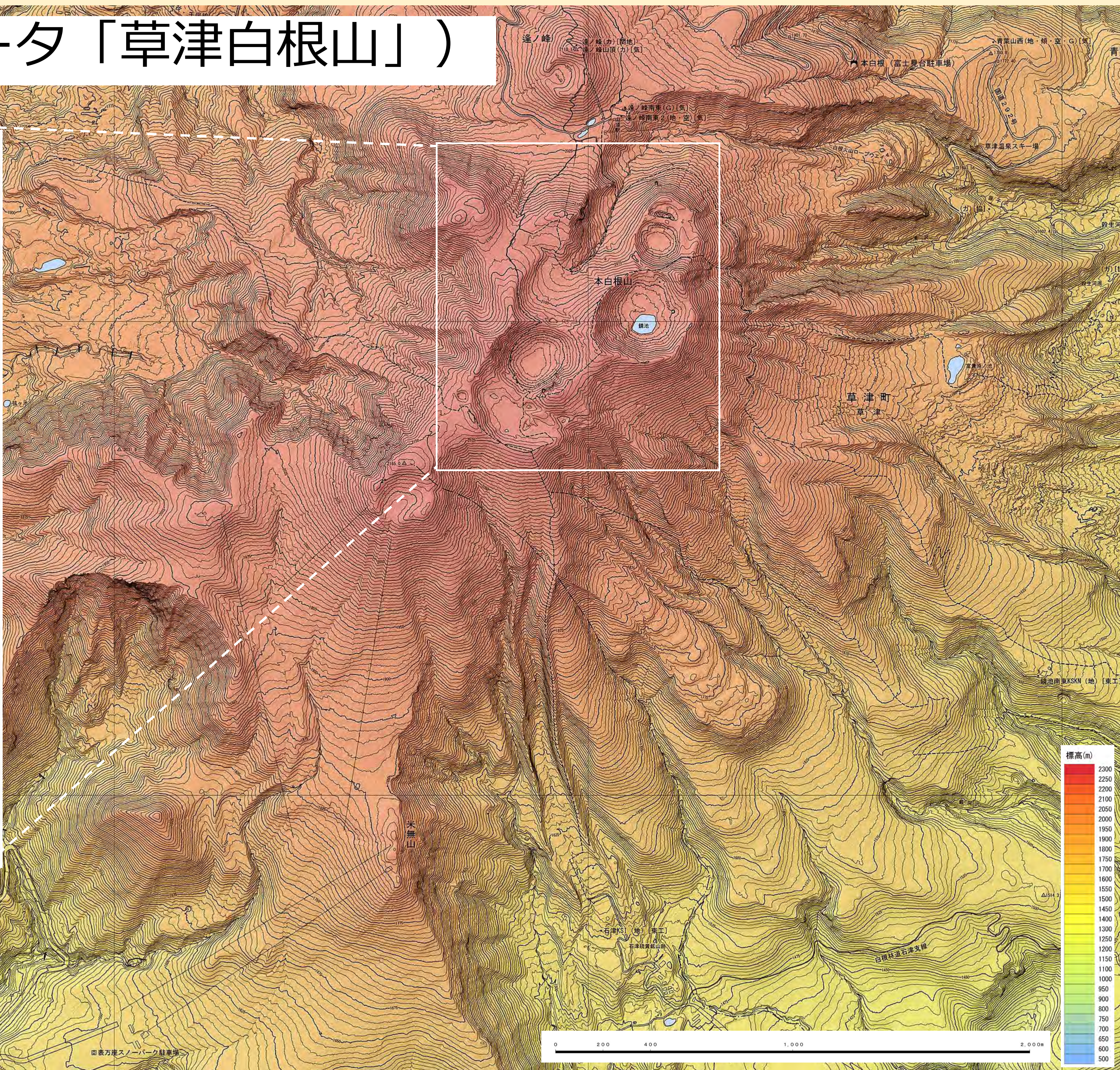


我が国の活火山の分布



火山災害と地図

火山の地図（火山基本図データ「草津白根山」）



火山の地形をよく見ると、過去に起きた噴火の噴出口（火口）がわかるんだ。凸凹がよくわかる地図で、火口を見てみよう。